

I 景観計画における 好きです。さっぼろ（個人的に。）の取組 と 新たな表彰制度の検討・実施 の位置づけについて

第5章-4 景観形成に関する普及啓発 主な取組（景観計画一部抜粋）

① 景観に関する教育と体験の機会の提供

ア 子どもへの景観教育

イ 市民等との協働による普及啓発の取組

市民主体の景観資源選出等の取組「好きです。さっぼろ（個人的に。）」の成果と課題を踏まえ、景カードを使った子どもへの普及啓発の取組など、より多くの市民・事業者等に波及する効果的な取組を検討して実施していきます。

② 多様で効果的な情報発信

ア わかりやすく多様な情報発信

イ 多様な情報発信ツールの活用

③ 市民・事業者等の自発的活動を促進する施策の充実

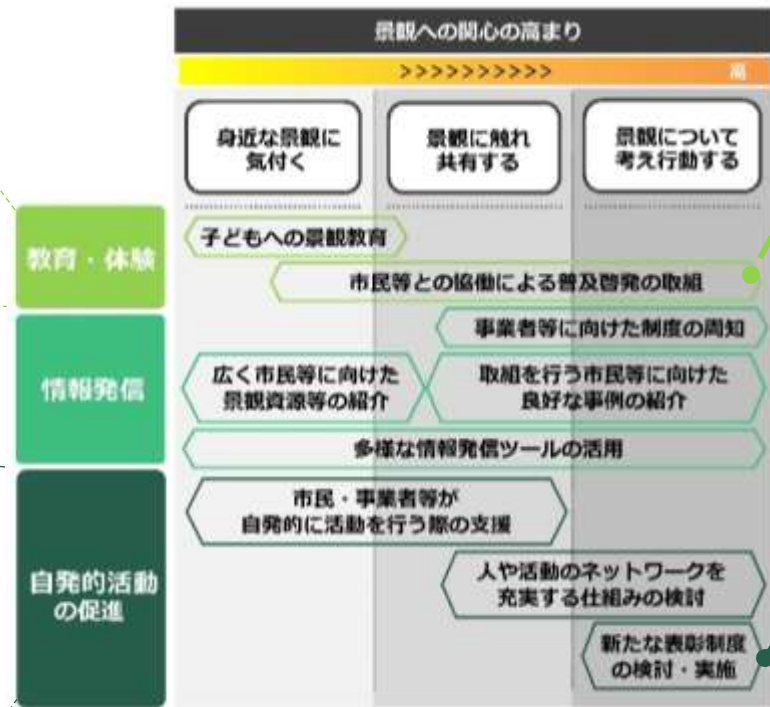
ア 市民・事業者等が自発的に活動を行う際の支援

イ 人や活動のネットワークを充実する仕組みの検討

市民・事業者等の個々の活動が広がり、相互につながって連鎖的に展開していくよう、景観整備機構の指定、専門家や活動団体の認証など、人や活動のネットワークを充実する仕組みの検討を行います。

ウ 新たな表彰制度の検討・実施

市民・事業者等が良好な景観の形成に意識を向け、市民・事業活動等の中で自発的取組を行うきっかけとなるよう、良好な景観の形成に資する優れた建築物や活動等を評価する新たな表彰制度について検討・実施していきます。



▲景観計画（P61）

「教育・体験」「情報発信」「自発的活動の促進」は、市民の景観への高まりに応じてそれぞれ段階的に行うこととしている。

これまでの好きです。の取組は、ここに位置づけられる。

今後も市民等の関心を喚起するためイベント実施など多様な取組を展開していく。

- ・景カードの活用
- ・イベントの実施
- ・広域連携
- ・リアルタイム投票
- ・景観整備機構の指定や活動団体の認証
- ・自由な発想による表彰制度のプレ実施 など

新たな表彰制度の検討・実施

左図のように景観形成に関する普及啓発について、景観への関心の高まりに応じて各取組が互いに連動している。

新たな表彰制度の検討・実施においても、好きです。の取組などを踏まえて、段階的に検討していく。

新たな表彰制度の具体化に向け、市民がどういったものに関心をもっているのか、どういった制度・体制が求められるのか整理する。

II これまでの景観の普及啓発事業

これまでの経緯		
昭和58年(1983年)～平成21年(2009年)	平成24年(2012年)～平成26年(2014年)	平成28年(2016年)～平成29年(2017年)
札幌市都市景観賞	好きです。さっぼろ(個人的に。)	市民等との協働による景観資源選出等の取組(好きです。さっぼろ(個人的に。))
○良好な景観の形成に寄与している建築物を市民から募集	○市民による良好な景観の掘りおこしと発信、市民の個人的に好きな景色等を募集(人気投票)	○行政区域にとらわれない広域景観の視点
○専門委員会での選考により建築主、設計者、施工者を表彰	○多様なイベントの実施(まち歩きイベント、トークフォーラムなど)	○景カードの継続的活用
全14回開催(表彰件数:建築物等47件、公園・緑地等20件、市民参加・イベント等14件)	人気投票(景観総選挙(上位48件選出))	○市民主体の新たな表彰制度の可能性
	「景観まちづくりカードゲーム☆景カード」の作成・活用	「境界と景観」イベント 札幌市の境界付近の住民や自治体と景観の取組について模索
		「景観フェス(江厚別)」イベント 境界にとらわれない広域景観について江別市の協力のもの景観資源の発掘。

III 平成30年度の取組

① 景観に関する教育と体験の機会の提供⇒ イベントの実施



■開催概要

名称：景観未来会議 SAPPORO2019

日時：平成31年1月27日(日)

13:30～16:30

場所：札幌市民交流プラザ 札幌市図書・情報館

共催：札幌市、好きですさっぼろ個人的に運営委員

内容：これまでの取組を踏まえ、札幌の景観の未来のために市民等と行政がどのように関わっていくべきか様々なバックグラウンドを持つゲストを交えて行うトークフォーラム

■イベント通して得た視点

市民事業者等が自発的に行う活動そのものも景観を構成する要素であり、多くの市民に気づいてもらう働きかけが今後さらに必要である。

そして、評価の過程においても、専門家だけでなく市民の考えも反映することが重要である。

②市民・事業者等の自発的活動を促進する施策の充実

⇒検討会(計4回)の実施

表彰制度の意義及びあるべき姿について整理した上で、景観計画に則り次年度以降の取組の方向性を整理。